

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	03129-1	事業名	障がい児支援事業	部名	健康福祉部(子ども総合センター)
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興			室名	子ども家庭室
	基本施策	02:子育て支援			財	会計 一般会計
	施策の方向	02:すべての子育てを支援するしくみづくり			務	款 民生費
	戦略プロジェクト				科	項 児童福祉費
				目	目 保育所費	

② 目的・概要	対象	保育所に入所している障がい児
	目的	保育所に入所する障がいのある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、一人ひとりの子どもの発達過程や障がいの状態を十分把握し、適切な環境の下で過ごせるよう支援する。

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	①	名称 障がい児加配の保育士数	計画値			
		補足		実績値	29	20	4
		単位			人	人	人
	成果	①	名称 保育所に入所する障がい児の人数	計画値			
		補足		実績値	39	35	34
		単位			人	人	人

年度計画				年度実績				
				保育所に入所する障がい児の人数34人				
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	770	
		事業費		31,951	30,733	一般職員人件費 ②	770	平均給与額×③
		国庫支出金				所要人員 ③	0.10	
		県支出金		1,300	686	臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤	9,282	
		その他		10,000	9,282	受益者負担率	29.5%	⑤ / ⑥
		一般財源		20,651	20,765			
		再	翌年度への繰越額					
		掲	前年度からの繰越額					
			総人件費		①	770		
	総コスト		⑥	31,503				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	事業の実施により、3歳未満児に対しては加配保育士、3歳以上児に対しては介助員が対応し、障がい児が保育所で安心して過ごせる環境を整備することができた。	総合判定	A
			順調に進んだ	
	【反省点・課題】	介助員の知識・力量を高めるために、計画的な研修の実施や教材が必要である。		
【改善の方向性】	教育委員会と連携し、介助員の力量向上につながる研修を検討し実施する。また、私立保育所においても、可能な限り障がい児保育に取り組んでもうらうように、県の補助金や市単独の加配保育士人件費補助金の周知を図る。			
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 子ども家庭室長 青木 正彦	